

ありがとうございます

第5回 群馬県高校生介護技術コンテスト 三冠王達成！

平成30年7月21日に行われた群馬県介護技術コンテストにおいて、本校がベッドメイキング部門、介護技術個人部門、ペア部門の全部門で最優秀をいただくことができました！



介護技術ペア部門 9月1日に神奈川県で行われる関東大会へ出場します

当日は、群馬県で福祉を学ぶ高校生が集まり、それぞれの福祉に対する知識・技術・利用者さんへの思いを競い合いました。



最初に行われたベッドメイキング部門は、どの学校の仕上がりも美しく、確かな介護技術を身につけるべく切磋琢磨する様子うかがえました。

←ベッドメイキング部門

介護技術部門は、個人・ペアともに同じ事例をもとに介護技術を実践しました。
左半側空間無視のある方がその人らしい暮らしを送るためにはどのような介助が必要なのか、同じ課題でも各校で実施する介護は違ってきます。
各校の介護技術を見ることで、多くのことを学ぶことができました。

介護技術個人部門→

笑顔で利用者さんに声をかけながら介護を行いました。

寝ている方を起こして、ベッド端に腰掛けていただくまでの介助を行いました。

ちょっとした気配りで、安心・安全な介護が実施できます。



←介護技術ペア部門

ズボンを履き替えて、杖で歩行しベッドから机まで移動する介助を行いました。

これからも、利用者様のことを第一に、利用者さんに共感し寄り添える介護ができるよう、関東大会に向けてさらに努力を続けます。

また、介護技術部門の各校発表前には、兄弟姉妹による各部門の介護技術の見どころ紹介がありました。

ペア部門では、あえて「やってはいけない介護」を披露し、各校がどのような工夫をしてくるか、見ているみなさんが興味を持って頂けるようにしました。

介護技術部門の見どころ紹介→

「最低最悪の介護をします！」の宣言通りの介護を実施したため、利用者役の人がおびえています。やってはいけないことを披露することでどうしたら良い介護ができるか、を見ている人に考えてもらうのがねらいでした。



また、本校を会場に実施したので多くの生徒さんが大会スタッフとして参加させて頂きました。アクシデントが起きたときの迅速な対応は普段から、周囲に気を配って行動しようとしていることの成果が出たのだと思います。

本校以外にも多くの高校生がスタッフとして参加し、選手・大会を盛り上げてくれました。

選手だけでは大会で成果を発表することはできません。多くの同級生、先輩、後輩、実習先の専門職の方々、また、本校に講師で来てくださる先生方、そして保護者の皆さんの支えがあって、努力の成果が発表できます。ありがとうございます。



↑各部門の出場選手

前列左：ペア部門 前列右：個人部門 後列：ベッドメイキング部門

控えの選手のサポートも重要です。利用者役をし、客観的に介護を見て気がついたことを指摘してくれるサポートがあって練習は成り立ちます。

福祉・医療の専門職を
目指す中学生の皆さん！

伊勢崎興陽高等学校で
一緒に学びませんか？

